

在京白聖會報

第 54 回総会

4 年ぶりに校歌熱唱!!

創立 143 周年記念日に総会開催

『世に謳われし浩然の
大気をここに鍾めたる』4 年ぶりに、深紅の M 旗が
翻り、総会会場に校歌の大音
声が響き渡りました!新型コロナウイルス禍の中
での自粛ムードの第 53 回在京
白聖会総会に続き、本年の第
54 回総会は、制限を一定解除
し、通常のスタイルで挙行さ
れました。本年は 5 月の第 2 土曜日
の 13 日が、ちょうど母校の
143 周年の創立記念日にあ
たり、約 140 名の参加のも
と、東京ガーデンパレスで開
催されました。定例総会は、戸田純(昭 48
卒)本会会長を議長として、
藤井則夫(昭 47 卒)事務局長
の議案説明により、つぎの議
案が決議されました。

【総会議案】

第一号議案

令和四年度活動報告に関
する件1. 総会 2. 常任幹事会・
幹事会 3. 白聖芸術祭

第二号議案

令和四年度収支決算に関
する件

第三号議案

令和五年度活動計画に関
する件1. 会議による推進 2.
広報・クラブ活動 3. 会

勢の拡大 4. 重点項目

5. 外部連携活動

第四号議案

令和五年度収支予算案に
関する件

第五号議案(報告事項)

1. 役員の新体制 2. 令
和に永眠された年次幹事
3. 年次幹事一覧表

第 50 号

2023 年 9 月 20 日

発行

岩手県立盛岡第一高等学校在京同窓会

在京白聖会

事務局長 藤井則夫

(事務局)

〒143-0015 東京都大田区

大森西 2-17-4-201

TEL. (03) 6404-6379

FAX. 直通 (03) 6404-6379*00

E-mail: hakua_office@pmp-jp.com

(http://www.hakua.org/tokyo/)

題字: 淺沼 一道

総会終了後に、参加者全員
の集合写真(下欄)を撮影し
ました。懇親会に先立ち、来賓の盛
岡一高の高橋一佳校長(昭 58
卒)や盛岡市東京事務所の伊
瀬谷渉特別参与(昭 55 卒)よ
り祝辞を頂き、林晶子白聖同
窓会副会長(昭 46 卒)の発声
で乾杯しました。ステージのスクリーンで
は、当日母校で挙行された大
運動会の模様と、前日の県庁
前や盛岡駅頭での宣伝隊の映
像が映し出されました。伝統の猛者踊り、白聖幼稚
園、紅白応援風景の映像に、
往時を懐かしむ参加者の目が
奪われました。映像は、岩手
県へ Uターンした同窓有志が
ビデオ撮影し、送信された
データを会場で編集してスク
リーンに上映されました。締めくくりは、恒例の校歌
斉唱。若手有志による旗振り
のリードと太鼓に合わせ、4
年ぶりの大熱唱でお開きとな
りました! (写真 2 面)

「来年もまた会おう!」久しぶりの再会を喜び、友情を確かめ合った 140 名



白聖同窓会の林副会長より祝辞



議案を説明する藤井事務局長



戸田会長が総会の開会宣言



『奮えや杜陵の建男児〜』



『〜其処邁進の大天地!』



久しぶりに旧交を暖めて歓談



元応援委員の及川光紀（昭 58 卒）、宇佐美英志（昭 61 卒）、小野寺隆文（平 16 卒）、千葉雅弘（平 29 卒）による校歌のリード

定例幹事会の報告

7月19日に、秋葉原にて、定例の幹事会が開催されました。

約三十名の年次幹事が出席し、5月の総会を受けて活動復活をスタートしました。

議案審議に先立ち、5月8日に亡くなった馬場顧問の逝去が報告され、大任を務められた故人を偲びました。

はじめに、5月13日に盛会裡に開催された在京白聖会総会を振り返り、アンケートを紹介して意見交換を行いました。

続いて、常任幹事の役割分担として、次の通り承認されました。会報制作に一戸裕子（昭 43 卒）と岩澤新治（昭 45 卒）、白聖芸術企画に三浦千波副会長（昭 50 卒）、次期組織体制担当に國本聡副会長（昭 57 卒）と宮野谷篤常任幹事（昭 53 卒）、財務計画に佐々木貴司会計担当（昭 56 卒）。

さらに、来年の総会準備に向けて、平成年次のチーム化の取り組みに伊藤総（昭 55 卒）、金子得栄（昭 49 卒）、向田久美子（昭 59 卒）の各常任幹事の担当が承認されました。最後に、白石源次郎（昭 41 卒）常任幹事に顧問就任をお願いしました。

白聖芸術祭の開催案内

本年の白聖芸術祭は左記の要領で開催されます。

奮って作品の出品や会場への参加をお待ちしています。

●開催日 令和5年12月7日（木）～12日（火）

●開催時間 11時～18時半（最終日は15時まで）

●搬入日 12月6日（水）10時から飾りつけ

●会場 文房堂ギャラリー（千代田区神田神保町1の21の1）

☎（03）3291-3441

●出展料 一人2千円（2点まで）3点以上は1点につきプラス千円。グループ展出展料もこれに準じます。

●出演料 イベントは一時間2千円（準備、撤収時間を含む）

●懇親会 搬入日の12月6日（水）17時より。会費は4千円程度。

●申込締切 11月8日（水）申込＆問い合わせ先

三浦千波（昭 50 卒）〒211-0035 川崎

市中原区井田2の15の50 ☎（044）7971-2170

●詳細は、申込締切後、出展（出演）者にご案内します。

追悼 故馬場顧問

馬場さん、
ありがとうございます！
在京白聖会会長 戸田純

馬場信(あきら)前会長が、在京白聖会総会直前の5月8日に逝去されました。その前に届いたメールです。

「突然のことです。誠に申し訳ございませんが、5月13日の総会には欠席させていただきます。体調がすぐぶる良くないのです。」彼自身でメールを送られて、翌日旅立たれました。最後まで粹な馬場さんでした。

馬場さんは、故及川会長のもとで5年間事務局長を務め、その後8年間会長として、現在の在京白聖会をつくりあげてきました。また、その後故内村会長が急性心死された後も、再度1年間会長を御引き受けいただきました。

在任中は、ホームページの開設、同好会活動や白聖芸術祭の発足など会勢拡大にご尽力いただきました。ご冥福をお祈りし、エールを送ります。

「サンキュー、サンキュー、馬場先輩！」

馬場君の思い出

白石源次郎(昭41卒)

彼とは、高校一年生の同じクラスでの出会いでした。

彼は、中学時代は相撲が強かったらしく、横綱土俵入りや相撲の形等も教えられましたので柔道部に誘われましたが、映画観賞や文学が好きでクラブ活動には入らず、よく映画の話をしてくれました。

三年生の運動会で、私が白組大将として紅組の戦国武将の如き勇ましい宣戦布告文をお願いし、巻物にしてもらったのが最大の思い出です。

社会人になってからも食事や飲み会、ゴルフ等頻繁に交流を深めた仲でした。彼は博学で色々な事に通じて、読書、映画鑑賞、美術館巡りはもとより、特に日本の鉄道の駅や岬の灯台も全制覇し書き残しておられます。カラオケは意外にも森進一オンリー。

高校の同期会「七夕会」や勉強会「二火会」の事務局を担当してくれ、会場探しや連絡係もやってくれました。また、在京白聖会会長など長い間、会の活動に多大な尽力をされました。これからというところで、誠に無念の一言に尽きます。



馬場前会長の企画で
盛大に祝われた
50周年記念式典
(2018年5月19日)



馬場さんは詩情あふれる多くのエッセイを執筆



馬場前会長から50年事業の報告

会報は五十号を迎えました!!

創刊号にみる在京白聖会の歩み

(1)

在京白聖会報

在京白聖会は昭和四十四年に創立されました。その前年の昭和四十三年に母校盛岡一高の野球部が甲子園に出場し、在京同窓の有志多数が甲子園に応援に駆けつけたことが契機となって結成されました。

創立総会には百人余が集まりました。この会は、会員相互の親睦だけを目的とし、会長もおかず、会員一人ひとりが会長ということとで発足しました。昭和十七年卒の工藤祐正弁護士に事務所をひきうけていただきました。以後、毎年母校の創立記念日である五月十三日に総会懇親会を開催してきました。



会報発刊のご挨拶

在京白聖会会長

(昭和二十五年卒)

及川昭伍

在京白聖会報

創刊号

平成 8 年 11 月 24 日

総会は、当初の十年間は上野精養軒で、その後は原宿の東郷記念館で開催してきました。両方とも同窓生が役員をされているご縁でお世話頂いてきました。在京白聖会創立二十周年の平成二年には、二十周年記念誌を発行しました。その後間もなく、事務所とともに、事実上の代表幹事を引き受けてこられた工藤弁護士が急逝されました。在京白聖会事務所は平成四年から、昭和四十三年卒の星野健秀弁護士に引き受けていただいていたに至っています。

在京白聖会は年々盛大となり、総会懇親会の出席者も、今年は三百五十人を超えるようになりました。

た。年会費の納入者八百人、会員名簿登録者二千五百人となりました。若い人たちの参加により、今後ますます増加していくものと見込まれます。会員から会務執行体制の整備の要望が強くなり、規約を改正して、今年から、年次代表幹事、常任幹事、事務局長、会長、副会長というような体制を取ることにしました。あわせて会報を発行し情報交流の緊密化を図ることにしました。

今年の総会で私が会長に選出されました。私たちの年次は、昭和十九年に旧制盛岡中学に入学し、戦後の学制改革により新制高校に移行し六年間白聖の校舎で学びました。盛岡中学と盛岡一高の両方をよく知っている者として指名されたものと考え、非才ですがつとめさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

今年と同窓の宮沢賢治の生誕百年、石川啄木の百年で郷土も母校も賑わっています。私も八月に帰郷し、秀麗高き岩手山、清流長き北上川で浩然の気を養い、賢治記念館、啄木記念館の新しい展示を見てきました。



在京白聖会の活動、特にこの会報が、青春の学びやを共にした皆さんの、親睦、交流にお役にたつことを心から念願致します。

「在京白聖会会報」創刊号の及川会長挨拶

編集部より

会報へご投稿やご意見をお寄せください。
連絡先は下記です。(編集担当変更しました。)

岩澤新治 (昭 45 卒)

・メール : hakua1970@gmail.com

・電話 : 080-7518-1665

『在京白聖会 50 年記念誌』の注文を受付けてます。

サークル活動、イベントの掲載

在京白聖会トップページ : <http://www.hakua.org/tokyo/>1) 在京白聖レディス会 (昭 40 卒 戸来ソウ子) <https://mori1-hakua.tokyo/ladies/>2) 歌の祭り (昭 41 卒 高橋利宏) <https://mori1-hakua.tokyo/uta/>3) 在京白聖会ゴルフ大会 (昭 40 卒 細越博資) <https://mori1-hakua.tokyo/golf/>4) 白聖歌会 (昭 34 卒 星 邦彦) <https://mori1-hakua.tokyo/utakai/>WEB 歌会に投稿 : <https://mori1-hakua.tokyo/clipbbs/clipbbs.cgi?log=9324>5) 白聖メディカルクラブ (昭 58 卒 志和成紀) <https://mori1-hakua.tokyo/medical/>

※ (カッコ内は代表者)